

FMU 男女共同参画通信

第 18 号 September 2018
福島県立医科大学男女共同参画支援室

連日の猛暑が過ぎ日増しに秋の訪れを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。上半期も様々なイベントを実施して参りました。また 10 月には男女共同参画月間に伴い男女共同参画講演会を始め各イベントを開催の予定であります。今回は上半期のイベントを振り返りながら、10 月の男女共同参画月間についてもご紹介致します。

FMU キャリアアップセミナーを開催しました

男女共同参画の視点に立った人材の育成として、7 月 19 日（木）「第 9 回 FMU キャリアアップセミナー」を開催しました。

今回は「ふくしまとレジリエンス」と題し、本学理事長兼学長竹之下誠一先生にご講演いただきました。

個人のキャリアアップには、困難な状況にしなやかに適応し未来を切り開くレジリエンスの力が不可欠であることについて、多角的な視点でお話いただきました。レジリエンスを発揮し壊滅的な荒廃から何度も再起を果たしてきた福島の歴史にまつわる数多くの資料や竹之下先生ご自身の豊富なご経験を交えたお話を通じ、キャリアについて学ぶ貴重な機会となりました。

当日は多くの参加者の皆様にお越しいただき、大変な盛況となりました。



男女共同参画推進本部 H30 年度 男女共同参画推進員研修会 を開催しました

男女共同参画の意識の浸透と確実な推進を図ることを目的に、男女共同参画推進員である各所属長を対象として、男女共同参画推進員研修会を開催しました。

講師に立教大学社会学部／大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授学術博士日本 NPO センター副代表理事 萩原なつ子先生をお招きし、6 月 20 日（水）福島県立医科大学、6 月 28 日（木）会津医療センターにて親しみやすく分かりやすいお話をいただき男女共同参画について学びました。



FMU カフェ（6 月）を開催しました

6 月の FMU カフェでは「子育ても、介護も、社会が支える」と題し、人間科学講座教授藤野美都子先生にお話いただきました。また、事務局総務課大学人事係より、本学の妊娠・出産・育児等休暇制度の説明がありました。参加者からは、「実際のお話はとても説得力があり参考になります。フランスの社会化への開かれた考え方など、ご紹介いただきよかったです」などの感想をいただきました。



サマーポスターセッションに参加しました

7 月 23 日（月）～28（土）に開催された、医学研究科大学院研究発表会・サマーポスターセッションに、男女共同参画支援室員大野雄康先生が参加し「本学におけるワークライフバランスの現状と、その関連因子：男女共同参画支援室アンケート調査より」と題し発表しました。

討論日の 7/24 には多くの参加者からご質問をいただき、大変有意義な時間となりました。



本支援室では、ライフイベント（妊娠・出産・育児・介護等）を抱えた教職員の研究支援を行っております。今回は、研究支援を受けられている教職員の方々にお話を伺いました。



研究支援ありがとうございます

糖尿病内分泌代謝内科学講座

講師 工藤 明宏 先生

男女共同参画室の皆様には大変お世話になっております。2018年4月から木、金の午後4時間ずつ支援をいただき有難うございました。当科では、糖尿病の慢性合併症に関連する因子解明を目的として、データベースを作成しています。基本的な臨床データに加えて複数のアンケート、体組成、認知症、画像検査等があり膨大な打ち込み量でした。支援員の方のサポートのおかげで、立ち上げの大変な時期でしたが順調なスタートが切ることができました。私の状況は、共働き、2人の子供の育児と家事、義理の親の介護がありました。実の両親は老々介護中で、子供の世話をお願いできませんでした。仕事が山積みなのに早く帰らなければならず、早朝に仕事を

する日々で余裕がありませんでした。このような支援事業を企画して頂いた皆様に、大変感謝をしています。今後共よろしく願い申し上げます。



研究支援をうけて

性差医療センター/産科婦人科学講座

助手 大原 美希 先生

私は現在大学院生で、3年前に出産し、2年前に復帰しました。復帰後しばらくは外来業務を行いながら研究活動をしておりましたが、最近は病棟業務、手術の執刀、大学当直などもさせていただいております。大変充実した日々ではありますが、保育園へのこどものお迎えなど時間的制約も多くあり、臨床と研究の狭間で悩んでいたときに、指導医からこの支援事業についてご教授いただきました。今年の4月から支援をいただき、現在半年が経過したところですが大変助かっております。これまでは少し孤独であった研究生活も支援員の方と相談しながら進めていくことができたり、臨床業務で手が離せないときに実験データを取っていただいたりと、研究面だけでなく精神面でもとても支えられていると実感しております。今後は支援していただいたものを形に、是非学位取得にむすびつきたいと考えております。支援室の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。



今年度の研究員支援制度は、上半期（平成30年4月～9月）9名の教職員の方々に支援を行いました。下半期（平成30年10月～平成31年3月）は12名の教員の先生方を支援することになりました。

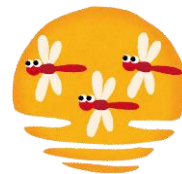


10月は男女共同参画月間です。男女共同参画講演会も開催致します

「男女共同参画行動計画」の取組の一環として、4月と10月を「男女共同参画推進月間」とし、男女共同参画の意識の浸透を図るような取組を重点的に行うこととしております。

具体的な取組の一つとして男女共同参画推進職場研修会の実施があります。所属ごとに「男女共同参画マニュアル」を用いた所属内研修会を開催の上「チェックシート」により一人一人自己点検を実施していただくなどして、男女共同参画の理解を深めていただきます。

また、10月19日（金）には、「H30年度全員参加型SD講習会 福島県立医科大学 男女共同参画講演会」を開催いたします。講師に秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座教授野村恭子先生と自治医科大学附属さいたま医療センター一般・消化器外科 教授力山敏樹先生を招聘しご講演いただきます。多数のご参加をお待ちしております。



福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 (内線 : 2807) / HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>
男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ / コーディネーター 千葉 篤子